

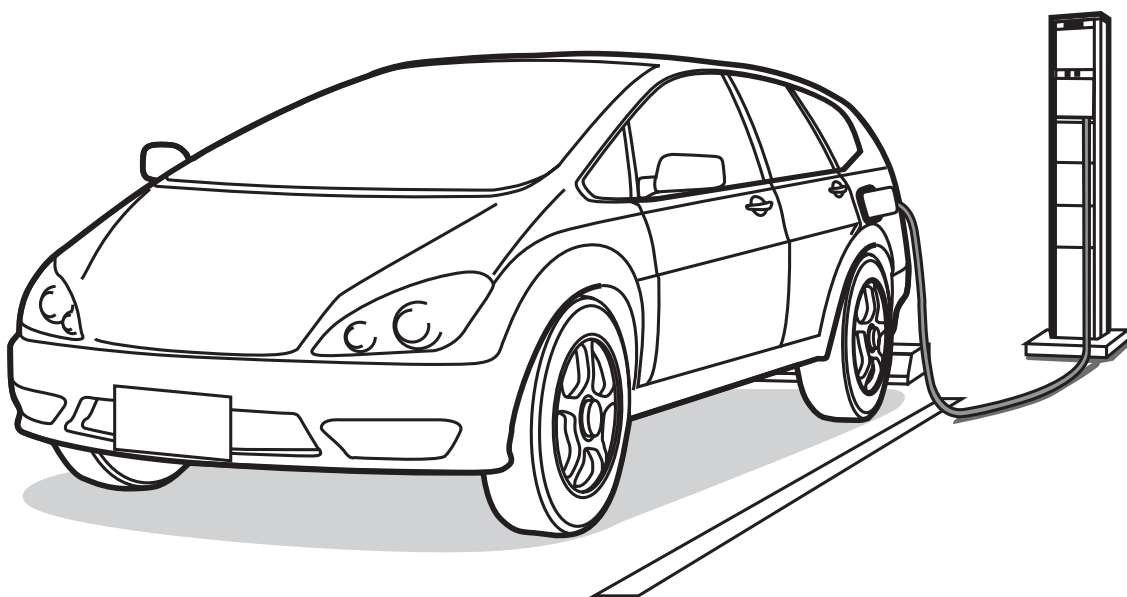
取扱説明書

EV・PHEV充電用 充電スタンド

エルシーヴ
ELSEEV

パブリックエリア向け

品番：DNE001K



- このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（4～5ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は「お引き渡し日・販売店名」などの記入を確かめ、大切に保管してください。

施工説明書、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書の内容を守らなかったために発生した不具合については、保証期間内であっても無料修理の対象外となります。

保証書付き

ご使用の流れ

充電方法



通電の確認

LED 表示で確認できます

6

ページ



プラグを接続する

1. 車両とプラグを接続
2. 本体とプラグを接続

7

ページ

…充電…



プラグを取り外す

1. 本体とプラグを外す
2. 車両とプラグを外す

9

ページ

こんなときは…



スタンド位置表示灯の点灯・
消灯のタイミングがおかしく
なった

14

ページ



電源 LED、充電 LED が
点灯しない

14

ページ



コンセントユニットを
増設したい

15

ページ

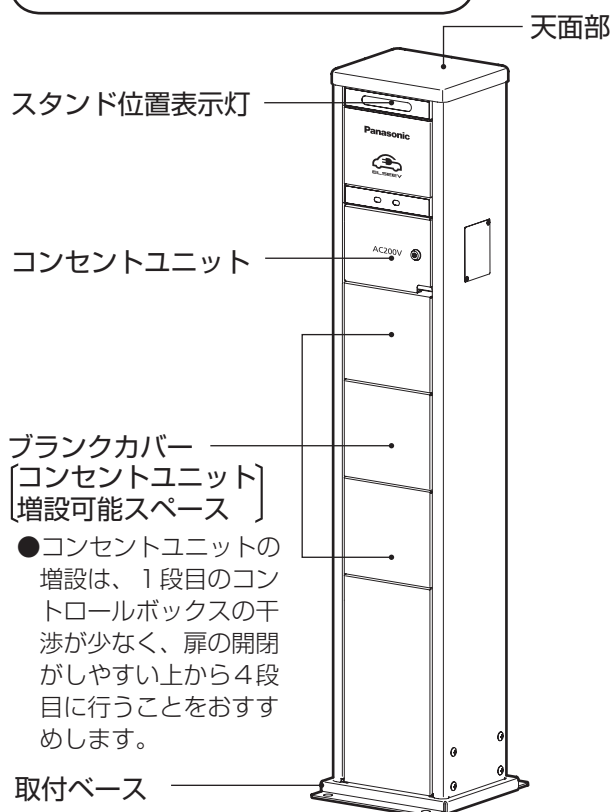


コンセントを交換したい

その他、お困りの場合は
「故障かなと思ったら」(14 ページ) を
ご参照ください。

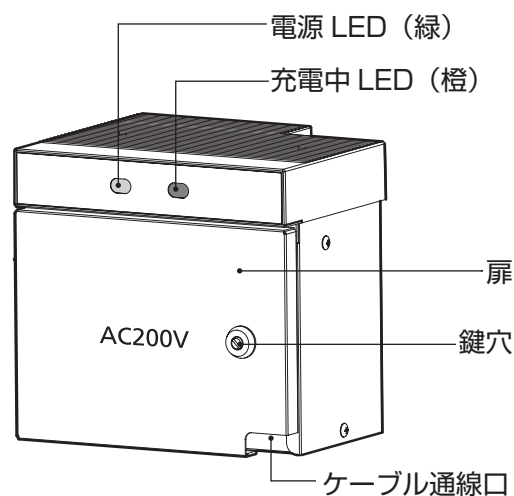
製品構成と各部の

充電スタンド本体



《正面》

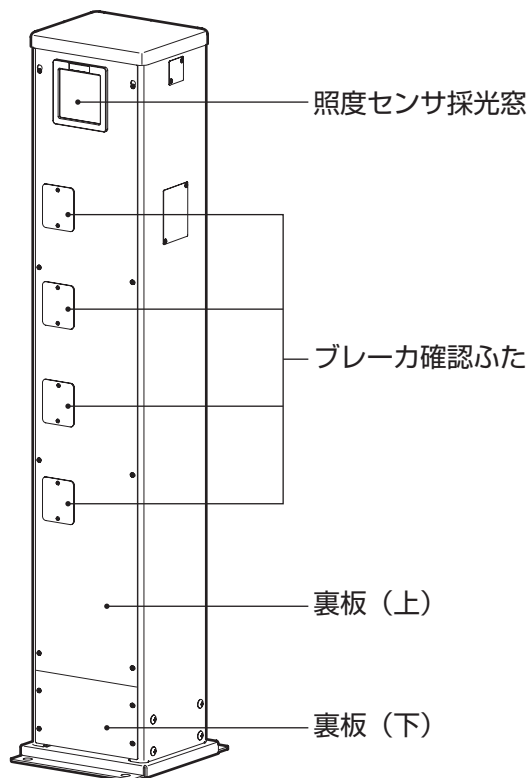
コンセントユニット



《扉を閉じたところ》

なまえ

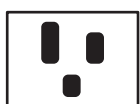
●安全上のご注意は、4-5ページでご確認ください。



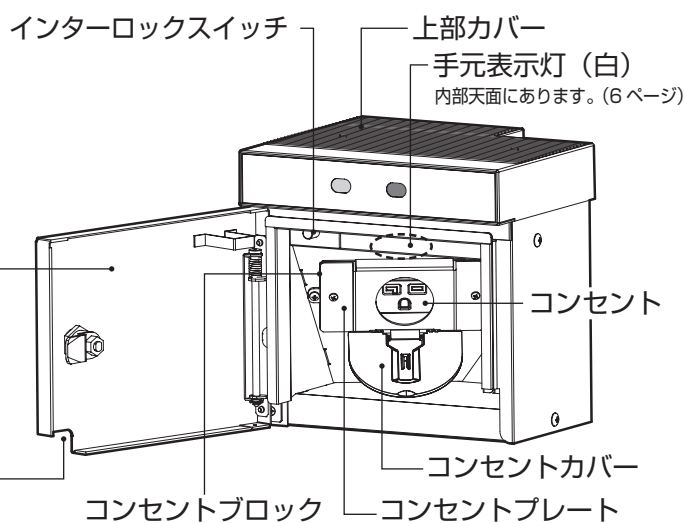
《背面》



200 V 用
コンセント

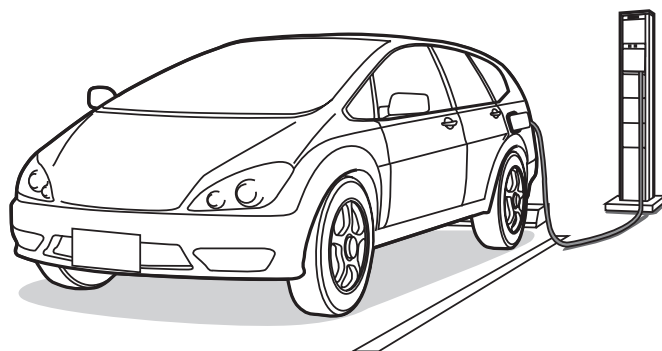


100 V 用
コンセント※



《扉を開けたところ》

※ DNE101K(コンセントユニット 100 V 用)
に使用しています。



使用イメージ

もくじ

はじめに

ご使用の流れ	2
製品構成と各部のなまえ	2
安全上のご注意	4
LED の状態表示	6

充電方法

充電の開始	7
充電の終了	9

交換・確認

ブレーカの確認・操作	10
------------	----

お手入れと日常点検

お手入れのしかた	11
定期点検	12
定期点検表	13

故障かなと思ったら

故障かなと思ったら	14
-----------	----

コンセントユニットの増設・交換

コンセントユニットの増設・交換	15
-----------------	----

仕様

仕様	15
保証とアフターサービス	16

安全上のご注意

必ずお守りください

お願い

当社では品質、信頼性の向上に努めていますが、一般的に金属製品は使用年月とともにさびなどの腐食が発生し、最終的に継続的使用が困難な状態（寿命）が生じます。

またコンセントについても一般的に抜き差し回数によって継続的使用が困難な状態（寿命）が発生します。

本製品も同様に使用条件、使用場所で異なりますが、本体については建柱後 10 年程度経過すると劣化が進みますので、更に長くご使用いただくためお客様ご自身で定期点検表の点検頻度に基づき必ず定期的に点検してください。

またコンセントおよびコンセントユニットについては 3 年に 1 回交換してください。

異常や不具合がありましたら、施工工事店までご連絡ください。

また本製品はお客様の大切な財産です。確実に点検を行うとともに以下のことを必ずお守りください。

○人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

○万一、注意事項に従わず使用された場合の事故や故障などについては、責任を負いかねます。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 危険

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。

⚠ 警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

■ 使用時のご注意



感電、火災、やけど、
けがなどを防ぐために

⚠ 危険



禁止

- プラグ先端の栓刃には手を触れない
高電圧による感電の原因となります。

⚠ 警告



禁止

- ぬれた手でコンセントやプラグを触らない
- 製品の分解・改造は行わない
- プラグを水につけない
- 器具内部に水をかけない
- 電気自動車およびプラグインハイブリッド車の充電用途以外で使用しない
- コンセントユニット内にプラグ以外のものを入れない
- テーブルタップなどを使用しない
- 定格容量 (200 V / 20 A 100 V / 15 A) を超えて使用しない
- 充電中以外はプラグをコンセントに差し込んだまま放置しない
- 通電中（充電中）にコンセントユニット内に手を入れない
- 可燃性ガスや引火物の近くで使用しない
- 本製品を布や布団、服などで覆わない
- コンセントユニットは、充電スタンド本体への増設・交換専用です。それ以外の用途では使用しない
- 表面が焦げているコンセントは使用しない
- コンセント樹脂部に割れ・欠けなどの異常が発生した場合は、直ちに使用を中止する
施工工事店までご連絡ください。
- LED 動作に異常が発生した場合は、直ちに使用を中止する
施工工事店までご連絡ください。
- 雨の日を使用する場合は、コンセント部に水がかからないように使用する

けがや事故などを防ぐために

警告



必ず守る

- 電源プラグはしっかり奥まで差し込んでロックする
差し込み不十分な場合、焼損や火災の原因となります。
- 電源プラグは根元を持って抜く
ケーブルを持って抜くと、絶縁劣化やショートなどにより、感電・発火・火災の原因となります。
- 電源プラグの抜き差し時以外は確実に扉を施錠する
水滴の浸入や手指の挿入による感電、ケーブル盗難や盗電されるおそれがあります。

注意



禁止

- 製品の上に乗ったり、もたれかからない
転倒してけがをしたり、製品が破損する原因となります。
- 扉や鍵を強引に開閉しない
転倒してけがをしたり、製品が破損する原因となります。
- 製品に穴をあけるなどの追加工はしない
(裏板(下)の穴あけ加工は除く)
穴部のバリなどによるけがや電線を傷つけることによる感電、さびなどの発生により製品が破損する原因となります。



必ず守る

- 充電作業は車両側の取扱説明書に従って作業する
車両側の機器が故障する原因となります。

- 本製品は日本国内専用です。国外では使用しないでください。
- 夏場など直射日光が強い場所で使用する場合は、金属表面温度が高くなるおそれがありますので、特にご注意ください。
- 積雪時は適切に除雪してください。
- プラグが汚れていたり、プラグに水分が付着している場合は乾いた布で拭き取ってからご使用ください。
- コンセントユニットおよびブレーカが冠水した場合、コンセントユニットおよびブレーカを交換してください。
- 使用を終了した製品は、万一の場合の倒壊防止のため、放置せずに撤去してください。
- 清掃方法については「お手入れと日常点検」(11ページ)をご確認ください。

保守・点検時のご注意

感電、火災、やけど、けがなどを防ぐために

警告



禁止

- 製品に水をかけて清掃しない
- 有機溶剤(ベンジンなど)をかけて清掃しない
- 清掃の際、家庭用洗剤などをコンセント内部にかけない

けがや事故などを防ぐために

警告



必ず守る

- お手入れ・点検の際は必ずブレーカを「OFF」にする
ブレーカをONにしたままで作業すると、感電やけがの原因となります。
- 定期点検表(13ページ)に基づき点検頻度を守って必ず定期的に点検し、異常や不具合があれば施工工事店に連絡する
点検しないまま使用すると、感電・漏電や製品が破損する原因となります。
- 製品にさびが発生した場合、必ず早期に補修する
さびが発生したまま使用すると製品が破損し感電や倒壊によるけがの原因となります。

注意



禁止

- 絶縁抵抗計(メガー)を使用しない
絶縁抵抗を計測する場合は、施工工事店へご依頼ください。
～施工工事店様へ～
極間に電子部品が接続されており、製品が破損する原因となりますので、極間では使用しないでください。



必ず守る

- 動物などの排泄物が付着することが考えられる場合は、点検サイクルを短くし、安全確認を行う
- 地際部には植栽などの土がかからないように管理する。
さびなどの腐食が促進され、製品倒壊の原因となります。

LED の状態表示

ご使用前に通電確認のため電源 LED（緑）が点灯していることを確認してください。
その他の LED 表示は以下のとおりです。正確に点灯していない場合は「故障かなと思ったら」（14 ページ）をご参照ください。

スタンド位置表示灯

周囲が暗くなると自動的に点灯し、明るくなると消灯します。

ご注意

- 点灯時および消灯時の周囲照度は立地環境の影響を受けバラツキが生じます。
- 充電スタンド本体の電源を入れたときは、1 ～ 2 分程度周囲照度に関わらず点灯します。

電源 LED（緑）

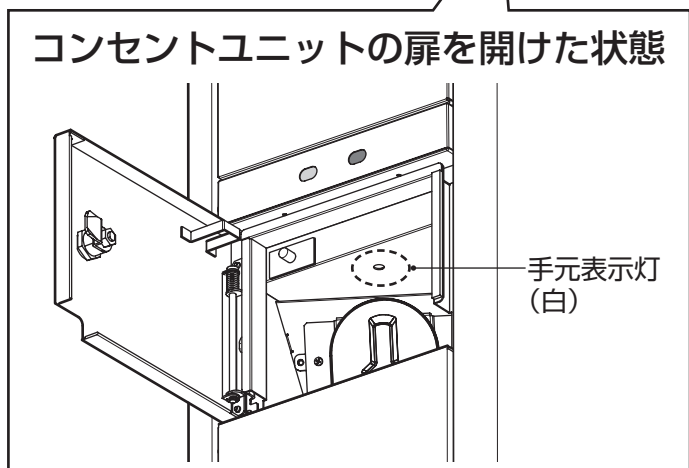
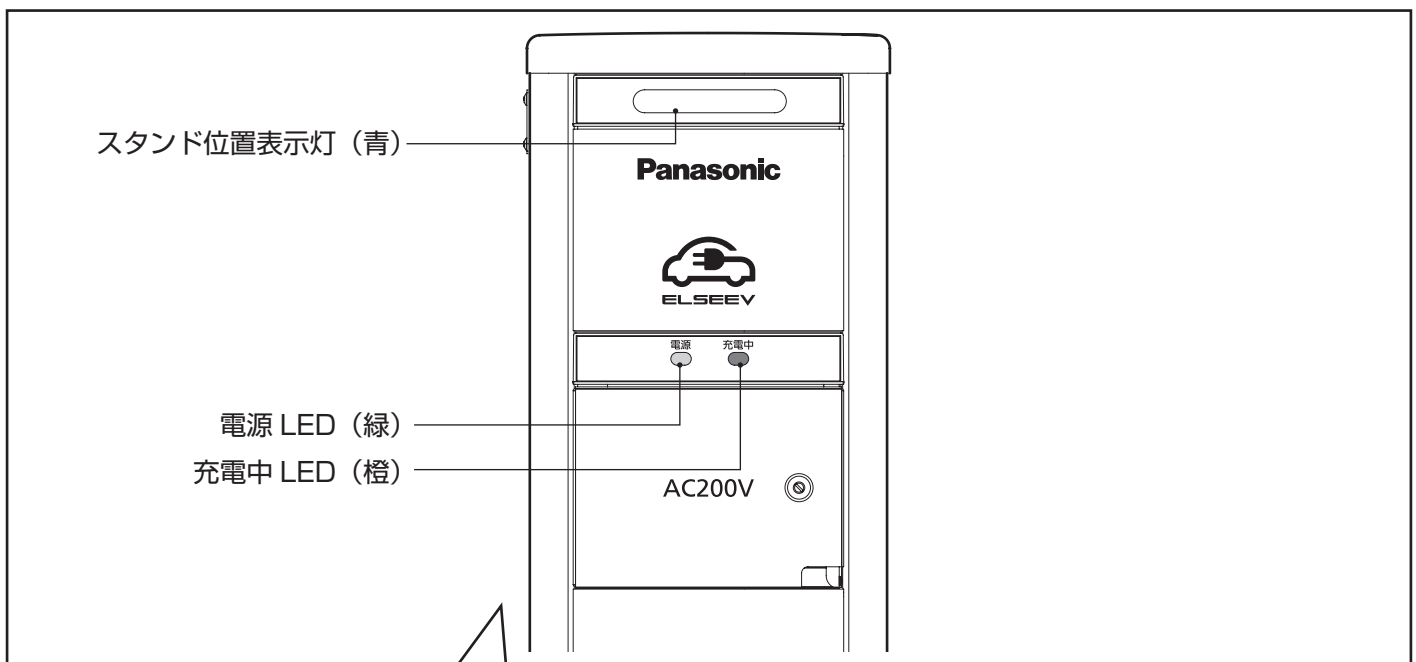
コンセントに電源が供給されている時に点灯します。
無通電状態や扉が開いている時は消灯します。

充電中 LED（橙）

電気自動車充電中に点灯します。
おおむね充電が完了すると消灯します。

ご注意

- 充電中 LED（橙）の表示は目安であるため、充電完了の確認は必ず車両側で行なってください。



手元表示灯

コンセントユニットの扉を開くと点灯し、閉じると消灯します。
夜間など視界が悪い場所でコンセントの位置を確認できます。

充電方法

プラグの接続

- 充電開始・終了作業につきましては、車両側の取扱説明書に従って作業してください。
- 専用の **EV・PHEV 充電用** 電源プラグ以外は使用できません。また、電源プラグ本体の長さが 90 mm 超のものは適合しません。
- 電源プラグがしっかり奥まで差し込まれロックしていることを確認してください。
- LED 動作に異常がある場合は、施工工事店までご連絡ください。

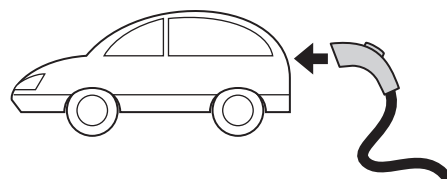
充電開始前に

最初に、車両側にプラグを差し込む

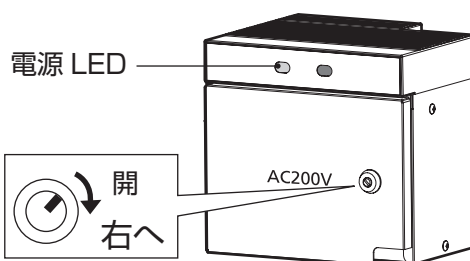
安全のため、最初に車両側にプラグを差し込んでください。

ご注意

- 車種によっては逆の手順でないと充電を開始しない場合があります。必ず車両側の取扱説明書に従って作業してください。
- プラグ先端の栓刃は高電圧になっている可能性がありますので絶対に触らないでください。



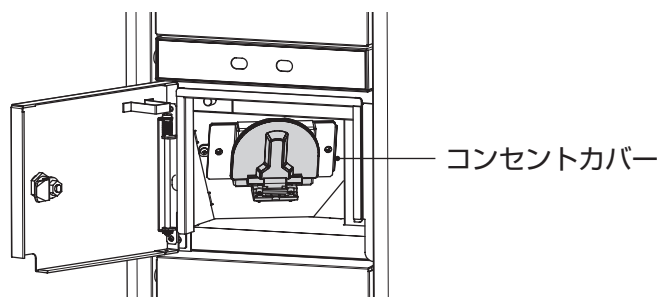
(例は 200 V の場合)



充電の開始

1 コンセントユニットの鍵を回し、扉を開ける

電源 LED は扉が閉じているときに点灯、開けたときに消灯します。



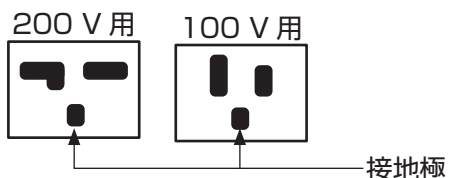
2 コンセントカバーを押し下げ、電源プラグをコンセントに差し込む

■感電防止のためのお願い■

先に車両側のプラグを差し込んでからコンセントに接続してください。

ご注意

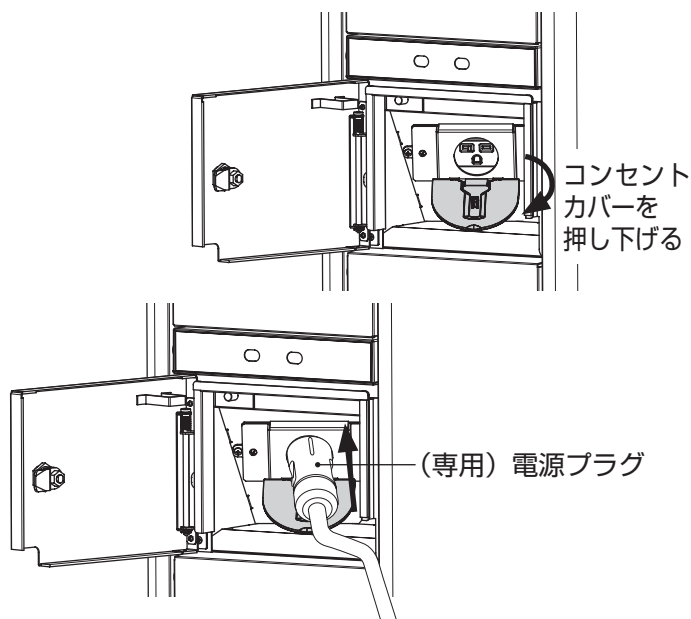
- 接地極位置を確かめて接続してください。



- 電源プラグはしっかり奥まで差し込んでロックをしてください。

コンセントカバーを離すとコンセントカバー部に電源プラグの突起が引っ掛かり、電源プラグにロック*がかかります。

※ 注) 専用の **EV・PHEV 充電用** 電源プラグ以外は使用できません。



8 ページにつづく

3 ケーブルを通線口に通してから 扉を閉め、鍵をかける

扉を閉めたときに電源 LED および充電中 LED が点灯することを確認してください。

警告



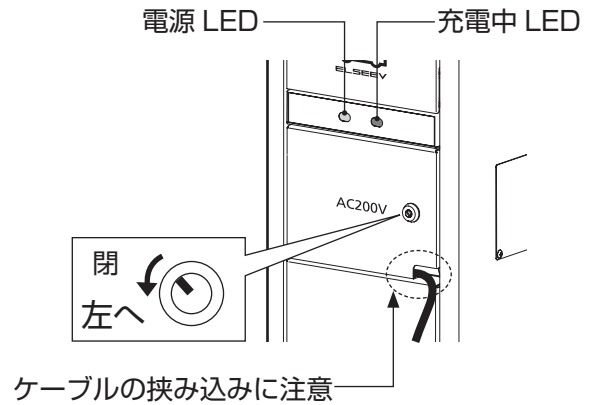
必ず守る

- ケーブルを扉で挟み込まないように注意して閉じる
感電および火災の原因となります。

ご注意

- 確実に扉が閉まらないと充電が開始されません。
- ケーブルは無理に曲げないようにしてください。
- 鍵は大切に保管してください。
- 充電スタンドと車両を接続しているケーブルで足を引っ掛けないように、ご注意ください。

車両側にて充電が開始されていることを確認してください。



これで「充電の開始」作業は終了です。

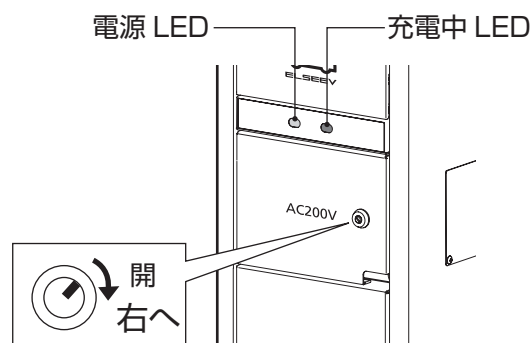
プラグの取り外し

- 充電開始・終了作業につきましては、車両側の取扱説明書に従って作業してください。
- 電源プラグを無理に引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- LED 動作に異常がある場合は、施工工事店までご連絡ください。

充電の終了

1 鍵を回し、扉を開ける

扉を開けたときに電源 LED および充電中 LED が消灯したことを確認してください。



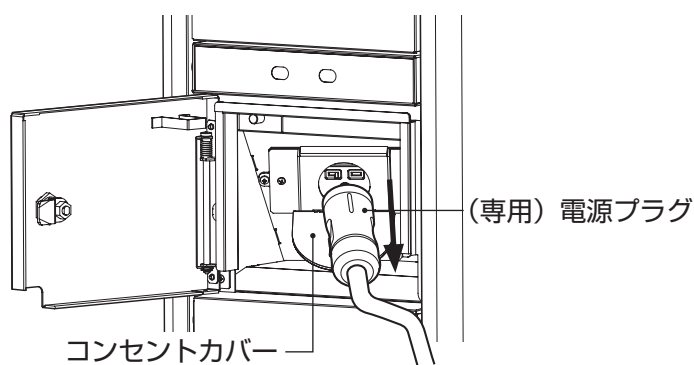
2 コンセントカバーを押し下げ、電源プラグ本体を持って抜く

コンセントカバーを押し下げて、電源プラグのロックが外れたことを確認し、電源プラグを抜いてください。

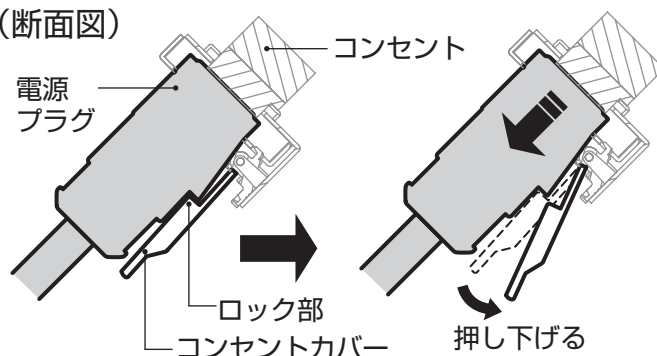
感電防止のため、車両側のプラグを抜く前に、先にスタンド側のコンセントから電源プラグを抜いてください。

ご注意

- 電源プラグ本体を持たずに抜くと、芯線が傷んだり、コンセント部の故障の原因となります。



(断面図)

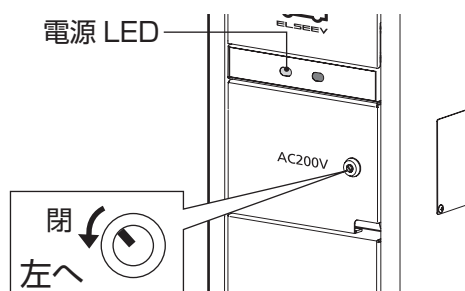


3 扉を閉め、鍵をかける

扉を閉めたときに電源 LED が点灯、充電中 LED が消灯していることを確認してください。

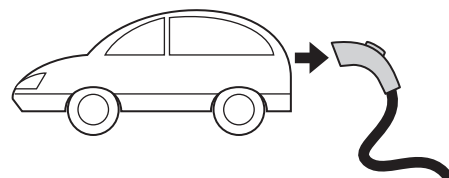
ご注意

- 雨水浸入防止のため、確実に扉を閉めて鍵をかけてください。



4 最後に、車両側のプラグを抜く

安全のため、スタンド側の電源プラグを抜いた後に、車両側のプラグを抜いてください。



これで「充電」作業は終了です。

ブレーカの確認・操作

こんな時に

充電スタンド本体内部にブレーカが設置されていて、ブレーカを ON / OFF したい場合、下記手順に従って確認・操作してください。電源 LED、充電 LED が点灯していないときは OFF になっている可能性がありますので ON にしてください。

ご注意

- 不用意にブレーカ確認窓に手やドライバーを挿入しないでください。

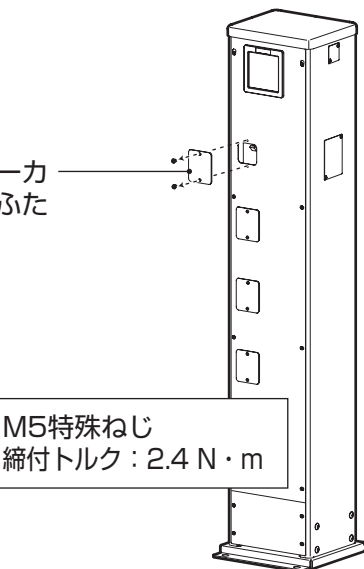
ブレーカの確認・操作方法

1 確認したい部位のブレーカ確認ふたを取り外す

同梱の特殊工具を使用し、ブレーカ確認ふたの固定ねじ（2 か所）を外し、ふたを取り外します。

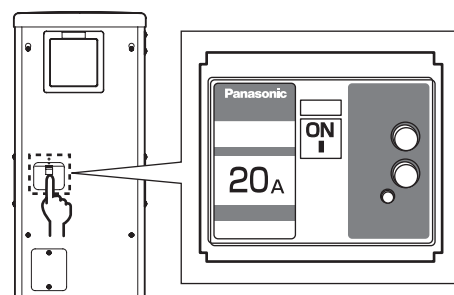
ブレーカ
確認ふた

M5 特殊ねじ
締付トルク：2.4 N・m



2 ブレーカの ON（または OFF）操作を行う

ブレーカ確認窓から手を入れ、ブレーカを操作します。



3 操作完了後、ふたを取り付ける

同梱の特殊工具を使用し、ブレーカ確認ふたの固定ねじ（2 か所）でふたを取り付けます。

動作確認

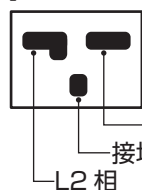
ブレーカを ON にし、コンセントユニットの動作を確認する

< 確認項目 >

【共通項目】

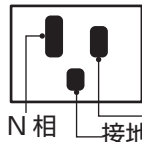
- コンセントユニットの扉を閉めた状態で電源 LED（緑）が点灯すること。
- 扉を開けた時に電圧が 0 V であること。

【AC 200 V の場合】



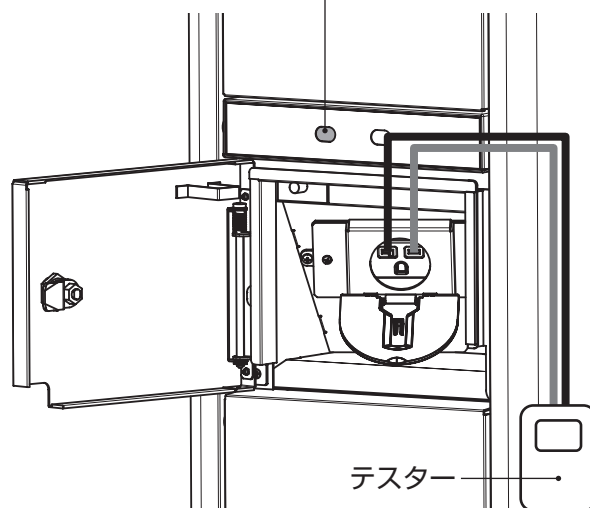
- コンセントの L1 相、L2 相にテスターを接続して扉を閉めた時に、定格電圧（AC 200 V）が出力されていること。

【AC 100 V の場合】



- コンセントの L 相、N 相にテスターを接続して扉を閉めた時に、定格電圧（AC 100 V）が出力されていること。

電源 LED（緑）



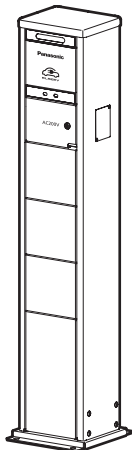
テスター

200 V 用の場合

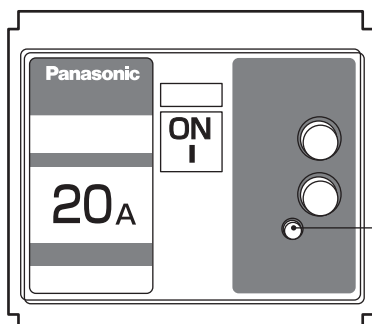
お手入れと日常点検

お手入れのしかた

- 表面が汚れたら、よく絞ったタオルなどで拭いてください。ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。またコンセントに洗剤などが付着しないようにご注意ください。



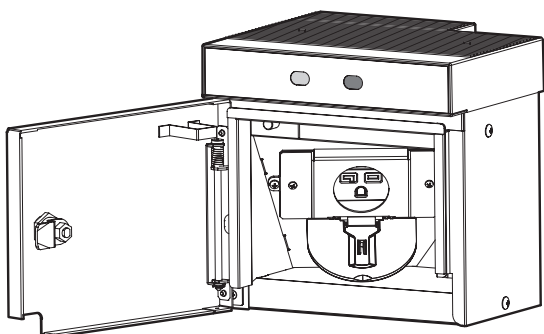
- 漏電ブレーカが正確に作動することを定期的にご確認ください。漏電ブレーカのテストスイッチを押すことによって確認できます。詳細は漏電ブレーカの取扱説明書をご覧ください。



テスト
スイッチ

- コンセントユニット内部に水が付着している場合は乾いた布で拭き取ってください。また、ごみなどを取り除いてください。

- 地際部やコンセントユニット表面にさびが発生していないことをご確認ください。さびが発生している場合は、施工工事店までご連絡ください。



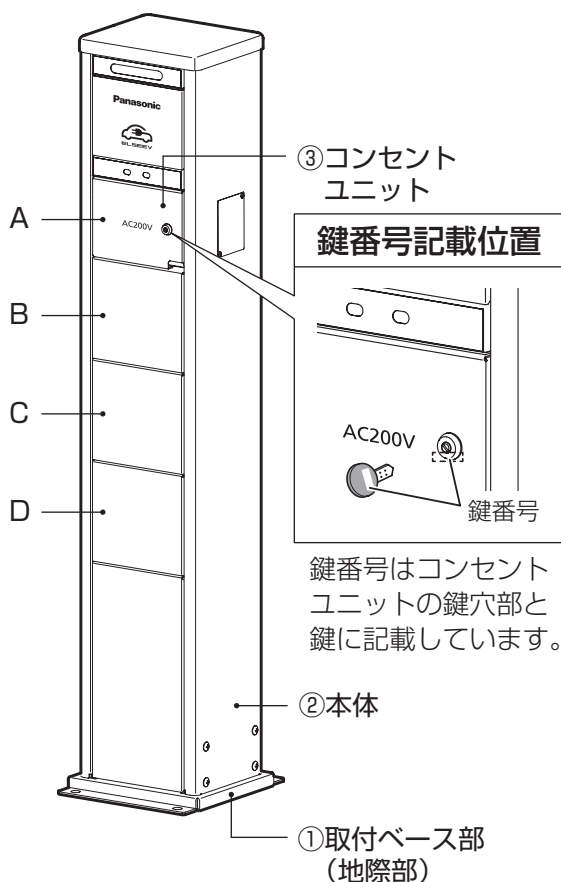
⚠ 注意



禁止

- 器具に水をかけて清掃しない
火災・感電の原因となります。

お手入れ点検表の部位位置と 鍵番号のご記入指示図



鍵番号の記入

- 鍵紛失時に備えるため、鍵番号を記入してください。鍵番号は、アルファベットと数字の6桁です。

	鍵番号
コンセントユニット A	
コンセントユニット B	
コンセントユニット C	
コンセントユニット D	

定期点検

- 製品を長く・安全にお使いいただくために、定期点検を行ってください。
- 定期点検の詳細内容は、定期点検表（13ページ）に従い、実施してください。
- 塩害地・温泉地など劣化が促進される場所に設置している場合は、点検頻度を増やして（推奨：全ての項目を1回/3か月以上）、点検を実施してください。
- 下記のメンテナンススケジュールに記載している部品は、定期的に交換が必要な部品です。
- 下記のメンテナンススケジュールに記載している交換目安は、交換を推奨する時期です。
保証期間を示すものではありません。
使用環境によって、さらに短い期間で消耗、劣化する場合がありますので、点検リストに従い、定期点検を行ってください。
- 定期点検時は、雨水が吹き込まないように、雨天時などを避けて、作業してください。
- 点検の結果、異常や不具合があった場合や交換作業が必要な場合は、施工工事店までご連絡ください。有料で交換します。
劣化する前に交換することをお勧めします。

警告

 禁止	●漏電ブレーカやスイッチの確認・操作をする場合は、絶対に電極部に触れない感電の原因となります。	 必ず守る ●裏板を開け電極部の点検をする場合は、必ず漏電ブレーカを「切」にしてから作業する感電の原因となります。 ●点検の結果、異常や不具合が発生した場合は、漏電ブレーカを「切」にして、直ちに使用を中止する 施工工事店までご相談ください。
---	---	---

メンテナンススケジュール

メンテナンススケジュール	3年	6年	9年	12年	15年	18年	20年
定期点検 (1回/半年)	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
	半年ごとに点検実施 ※定期点検はお客様ご自身で実施してください						
	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
コンセントユニットの交換 (3年ごと)	交換	交換	交換	交換	交換	交換	
	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
充電スタンド本体の建替 (10年～20年)				建替			

※部品の交換や建替は電気工事士の有資格者が行ってください。

- 建柱後10年程度経過すると劣化が進みますので、建替をご検討ください。
使用環境によって、さらに短い期間で消耗・劣化する場合があります。
10年以上ご使用いただく場合、お客様ご自身で定期点検表に基づき、点検頻度を増やして（全ての項目を1回/月以上）点検を実施してください。
- 建柱後20年以内で必ず建替えてください。

点検の結果、異常や不具合があった場合や、交換や建替が必要な場合は施工工事店までご連絡ください。

定期点検表

本点検表を必要枚数コピーしてお使いください。

点検の結果、異常や不具合があった場合や交換・補修作業が必要な場合は、施工工事店までご連絡ください。

※ 部位個所は 11 ページの「お手入れ点検表の部位位置と鍵番号のご記入指示図」でご確認ください。

●点検頻度 1回/半年

部位	点検個所	点検内容	異常の原因	異常時の処置	点検日					
					/	/	/	/	/	/
①取付 ベース部 (地際部)	設置面	さびの発生有・無 (さびによる膨れなど)	傷などによるさびの 進行	交換・補修						
	固定ボルト	緩み有・無	振動による緩み	増し締め						
②本体	筐体	さびの発生有・無 (さびによる膨れなど)	傷などによるさびの 進行	交換・補修						
	設置状態	傾き発生有・無	衝突やもたれかかり、 強い力によるケーブル の引っ張りなど							
	スタンド 位置表示灯	樹脂割れ発生 有・無	衝突や打痕	交換						
		夜間でのLED 不点灯有・無	基板不良 内部配線不良							
③コンセント ユニット	扉	傾き・ガタつき発生有・無	衝突やもたれかかり、 強い力によるケーブル の引っ張りなど							
		コンセント固定部の歪み有・無	強い力によるケーブル の引っ張りなど							
	コンセント	コンセント樹脂部の割れ・欠け 有・無	衝突や環境負荷							
		プラグ差し込み時の緩み有・無	コンセント寿命							
		プラグ差し込み時の異常な硬さ 有・無	異常挿入・変形 コンセント寿命							
		充電時の異常発熱有・無	コンセント異常 内部配線不良							
	上部カバー	樹脂割れ発生有・無	衝突・劣化							
		扉を閉めた状態での電源LED・ 充電中LED不点灯有・無	基板不良 内部配線不良							
		扉を開いた状態での電源LED・ 充電中LEDの点灯有・無	基板不良 内部配線不良							
	インターロック スイッチ部	扉を開いた状態でインターロック スイッチを押した時の “カチッ”音の有・無※1	内部部品不良							

※1 “カチッ”と音が鳴れば正常です。

故障かなと思ったら

下記内容をご確認の上、対処方法をお試してください。
確認の結果、異常がある場合は施工工事店までご連絡ください。

⚠ 注意



- お手入れ・点検の際は必ずブレーカを「OFF」にする
ブレーカをONにしたままで作業すると、感電やけがの原因となります。

●本体に漏電ブレーカを取り付けた場合のブレーカの操作方法は10ページ「ブレーカの確認・操作」をご確認ください。

現 象	原 因	処 置
●充電が開始しない	・ブレーカがOFFになっている	ブレーカをONにする。
	・プラグがコンセントから抜けている	プラグをコンセントに確実に差し込む。
	・扉が確実に閉まっていない	扉を閉め、鍵をかける。
	・満充電状態となっている	車両にて充電状態を確認する。
●電源LED（緑）が点灯しない	・ブレーカがOFFになっている	ブレーカをONにする。
	・扉が確実に閉まっていない	扉を閉め、鍵をかける。
●扉を開いても電源LED（緑）が消灯しない	・扉が閉まっている	扉を確実に開く。
	・内部機器が壊れている	コンセントユニットを交換する。 ※コンセントユニットを交換する場合は施工工事店までご連絡ください。
●充電中LED（橙）が点灯しない	・プラグがコンセントから抜けている	プラグをコンセントに確実に差し込む。
	・満充電状態となっている ・車両側の制御で、充電開始までに時間がかかっている	車両にて充電状態を確認する。 ※車種によってはコンセントを先に接続しなければ充電できないものもあります。車両側に付属の取扱説明書をご確認ください。
●扉を開いても充電中LED（橙）が消灯しない	・扉が閉まっている	扉を確実に開く。
	・内部機器が壊れている	コンセントユニットを交換する。 ※コンセントユニットを交換する場合は施工工事店までご連絡ください。
●スタンド位置表示灯（青）が点灯しない	・ブレーカがOFFになっている	ブレーカをONにする。（10ページ参照）
	・内部機器が壊れている ・明るいため、照度センサが機能せず点灯しない	位置表示灯を交換する。 ※周囲の街灯などの影響もご確認ください。 ※十分暗い状態でも点灯しない場合は、施工工事店までご連絡ください。
●スタンド位置表示灯（青）が消灯しない	・内部機器が壊れている ・日陰などで暗いため、照度センサが働き、消灯しない	位置表示灯を交換する。 ※十分明るい状態でも消灯しない場合は、施工工事店までご連絡ください。

コンセントユニットの増設・交換

コンセントユニットの増設方法およびコンセントの交換方法については、施工工事店までご連絡いただき、施工説明書の記載に従って作業してください。



増設

- 本製品はコンセントユニットを増設することができます。

交換

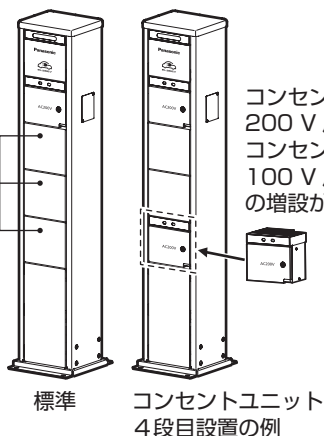
- 13ページの点検表に基づき点検した結果、コンセントに異常があり交換が必要である場合、コンセントブロックの交換が可能です。

品番:DNE101K (100 V 用)
DNE201K (200 V 用)

ブランクカバー

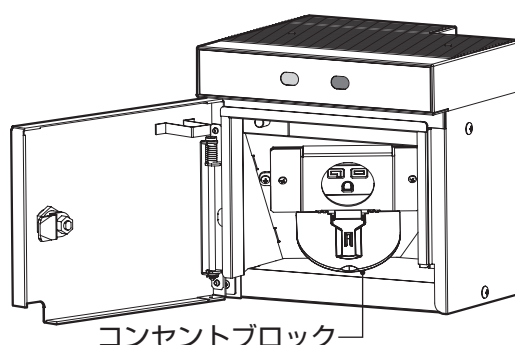
コンセントユニット
増設可能スペース

- コンセントユニットの増設は、1段目のコントロールボックスの干渉が少なく、扉の開閉がしやすい上から4段目を行うことをおすすめします。



コンセントユニット
200 V 用または
コンセントユニット
100 V 用 (別売)
の増設が可能。

《扉を開けたところ》



ご注意

- コンセントユニットは、充電スタンド本体への増設・交換専用です。それ以外の用途では使用しないでください。
- コンセントユニットの増設およびコンセントの交換は、必ず「電気工事士」の資格が必要です。
- コンセントユニットを増設するには、あらかじめ予備配管がされているかご確認ください。配管が無い場合は、基礎工事をやり直す必要があります。(露出配管する場合を除く)
- コンセントユニット1台ごとに漏電ブレーカ1台を使用して、回路を保護してください。

仕様

■充電スタンド本体基本仕様

品番	DNE001K	
コンセントユニット (標準装備)	AC200 V 50/60 Hz 20 A × 1 ユニット	
使用温度範囲	- 10 °C ~ + 40 °C	
寸法 (突起部含まず)	幅 280 mm × 奥行 230 mm × 高さ 1500 mm (取付ベース高さを含む)	
質量	約 33 kg (取付ベース込み)	
防水防塵	IP44 相当	
設置方法	ベースプレート方式	
設置場所	屋内・屋外	

■コンセントユニット基本仕様

用途	200 V 用	100 V 用
品番	DNE201K	DNE101K
定格	AC200 V 20 A	AC100 V 15 A
使用温度範囲	- 10 °C ~ + 40 °C	
質量	約 3.1 kg	
その他機能	鍵、インターロック、電源 LED、充電中 LED	

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理 などは
■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () ー

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かなと思ったら」(14ページ)でご確認のあと、直らないときは、漏電ブレーカを「切」にして、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名 EV・PHEV充電用 充電スタンド ELSEEV^{エルシーブ}
パブリックエリア向け

●品番 DNE001K

●故障の状況 できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。
保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。
＊ 修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

＊補修用性能部品の保有期間 **5年**
当社は、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 5 年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。
ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によって、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は.....

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://www.panasonic.com/jp/support/

パソコン・スマートフォンのどちらからでもご覧になれます。

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル  **0120-878-365**
※携帯電話・PHS からもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「990 #」を押してください。
(番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。)

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187** ■FAX フリーダイヤル  **0120-878-236**
Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は.....

パナソニック エコソリューションズ 修理サービスサイト

http://sumai.panasonic.jp/support/repair/

パナソニック エコソリューションズ 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル  **0120-872-150**
※携帯電話・PHS からもご利用になれます。
365日 受付9時～20時

■上記番号がご利用いただけない場合は **06-6906-1090**

※電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

<MEMO>

<MEMO>

Panasonic

出張修理

EV・PHEV充電用 充電スタンド 保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には
本書右欄記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書右欄に記載し
ております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い
上げの販売店にご連絡ください。詳細は右欄をご参照ください。

品 番		DNE001K	
保証期間		お引き渡し日から 本体1年間	
※ お引き渡し日		年 月 日	
※ お 客 様	ご住所		
	お名前 様		
	電 話 () —		
※ 販 売 店	住所・販売店名		
電話 () —			

パナソニック株式会社 パワー機器ビジネスユニット
〒571-8686 大阪府門真市門真1048番地 TEL(代表) 06-6908-1131

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しください。

< 無料修理規定 >

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には、お客様ご相談窓口にご相談ください。
(ハ) この商品は出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提出ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
- ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お客様ご相談窓口にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ) お引き渡し後の取付場所の移設・輸送・落下等による故障及び損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）等による故障及び損傷
(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(ホ) 本書のご提示がない場合
(ヘ) 本書にお引き渡し年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(ト) 離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
(チ) 取扱説明書、施工説明書等に従わないことにより発生した不具合
(リ) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わなかったことによる不具合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- お客様ご相談窓口は、取扱説明書をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書をご覧ください。

※This warranty is valid only in Japan.

製造番号



■本資料の記載内容は、平成 28 年 2 月 現在のものです。

■製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

パナソニック株式会社 パワー機器ビジネスユニット

〒571-8686 大阪府門真市大字門真 1048 番地 TEL.(06)6908-1131<代表>

© Panasonic Corporation 2016

DNE001K-T16
D0214-6026